

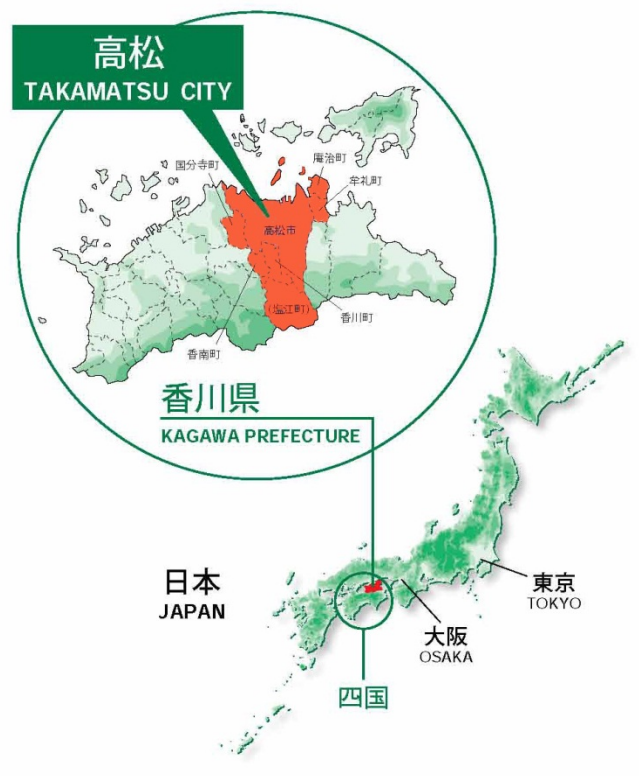
コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり  
～ICカードを活用した公共交通利用促進施策の展開～



平成28年9月29日

高松市交通政策課長  
板東 和彦

# 高松市のプロフィール



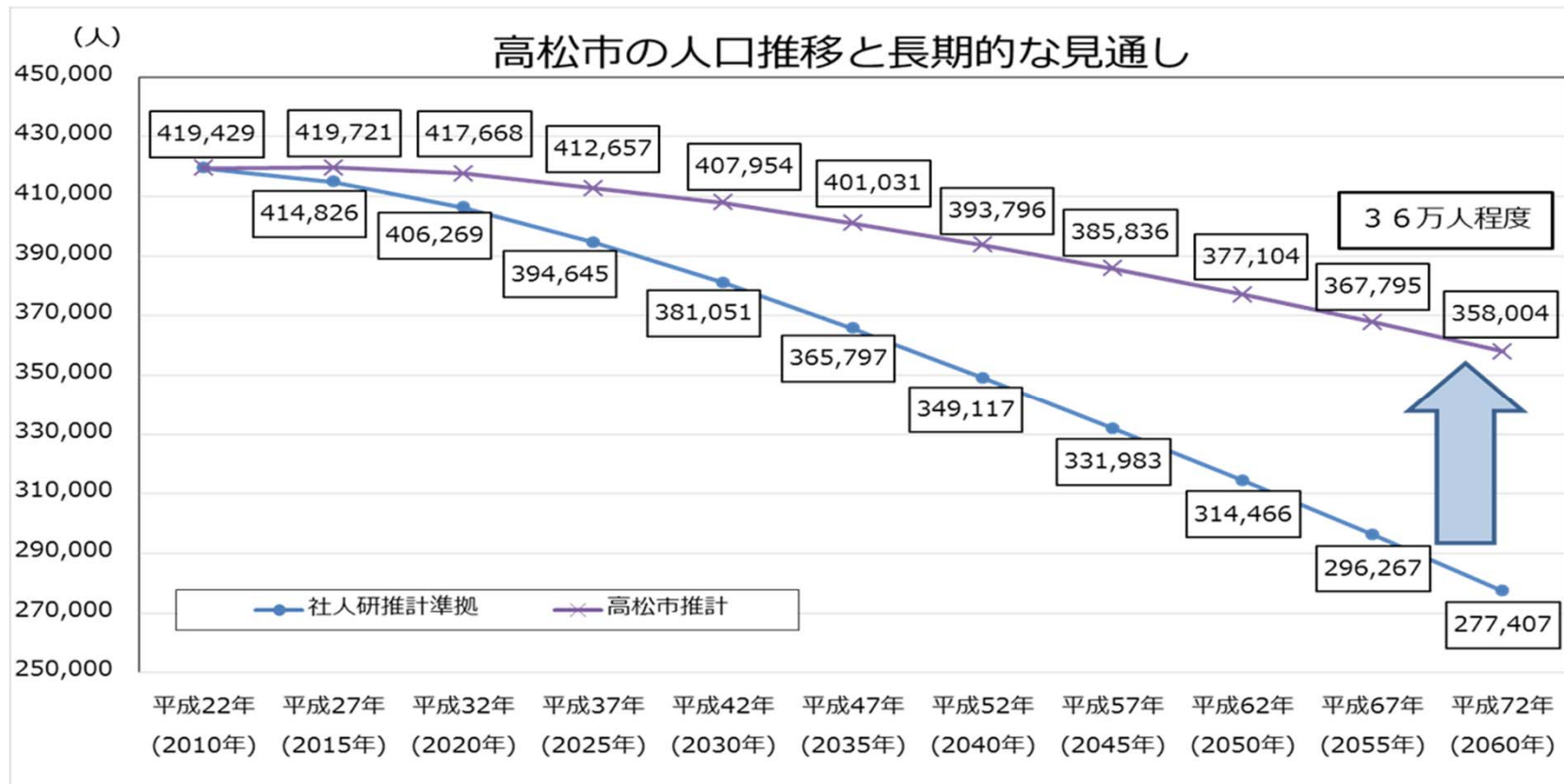
人口 約42万人  
面積 375.23km<sup>2</sup>



# 人口の将来推計

## 本市の将来展望

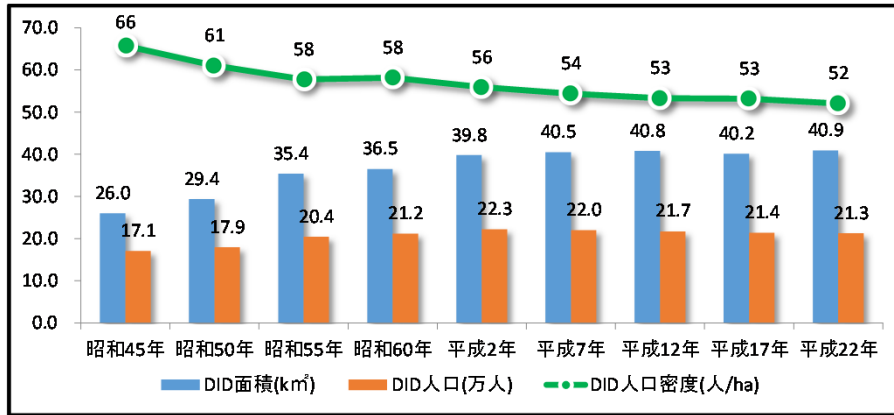
国・県の長期ビジョン及び人口ビジョンの策定に当たり実施した分析や、市民等へのアンケート調査等を考慮し、今後、本市が目指すべき将来の人口推移と長期的な見通しを設定します。



# 本市の現状と将来見通し

## 人口動態と将来の見通し

### DID※1面積・人口・人口密度の変遷



※1)DIDとは：人口集中地区のことで、国勢調査基本単位区等を基礎単位として、  
 ①「原則として人口密度が1平方キロ当たり4,000人以上の基本単位区が市区町村の境界内で互いに隣接」かつ、  
 ②「それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域」のことを指す。

### \* DID(人口集中地区)イメージ

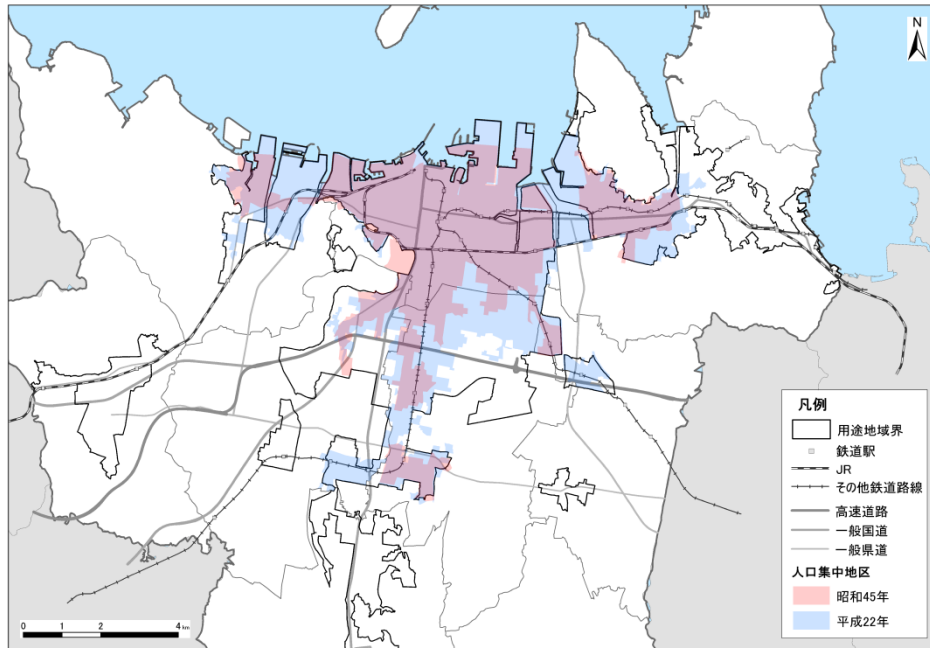
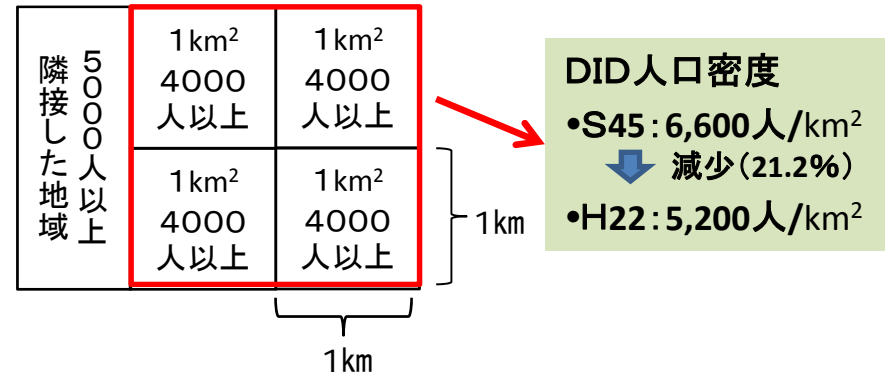


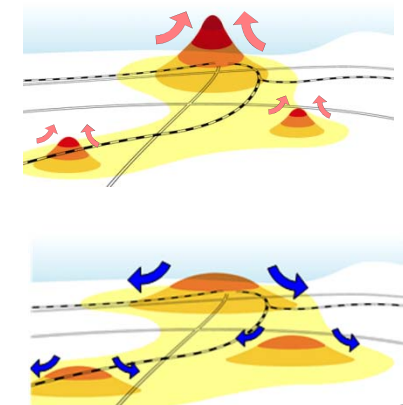
図 DIDの変遷(区域)

DID面積  
 S45: 26.0km<sup>2</sup>  
 ↓ 増加(36%)  
 H22: 40.9km<sup>2</sup>

DID人口  
 S45: 17.1万人  
 ↓ 増加(19.7%)  
 H22: 21.3万人

S45: 密集度合が高い地域が狭い区域に集中

H22: 密集度合が高い地域(面積)が拡大し、人口密度が低下  
 拡散・低密度化が進行



# 本市の現状と将来見通し

## 土地利用の動向 土地利用の状況

●昭和51年と平成21年を比較すると、用途地域内を中心に、田・その他の農用地が減少し、建物用地に大幅に転換

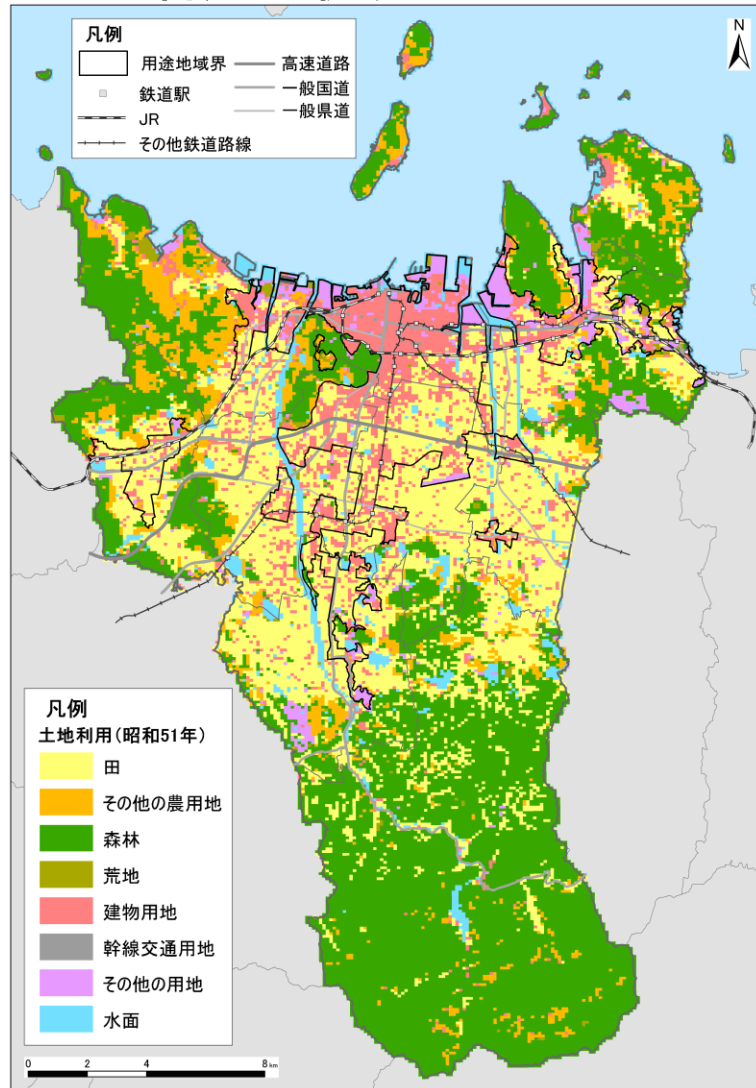


図 土地利用現況(昭和51年)

出典:国土数値情報

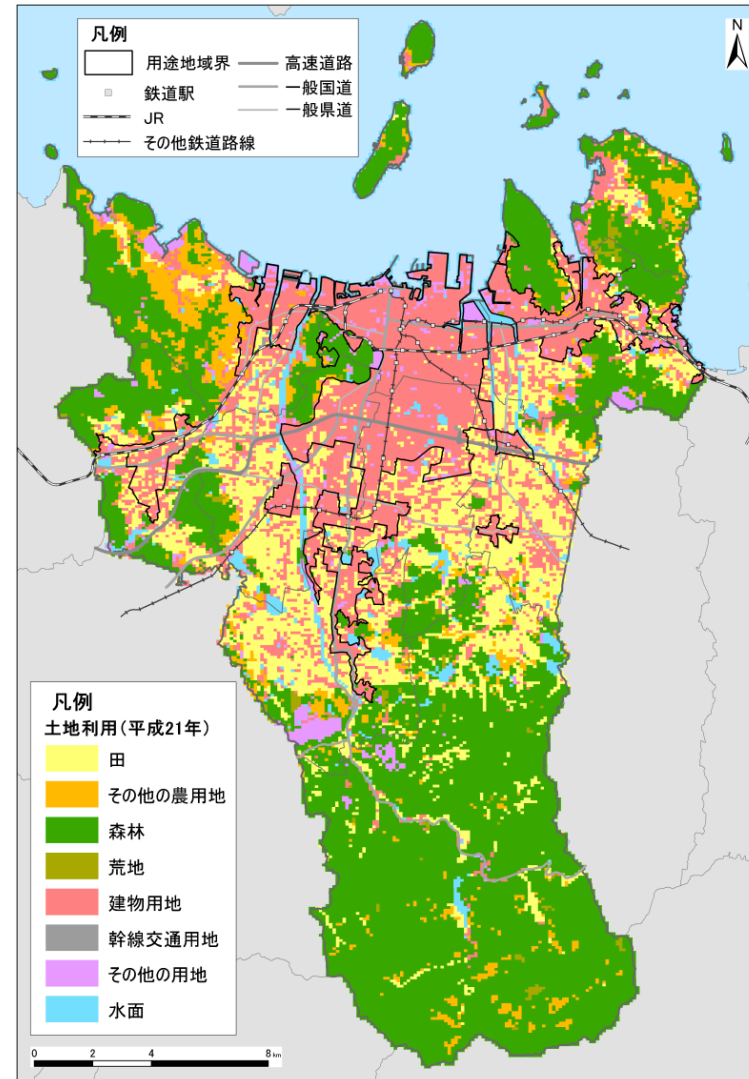
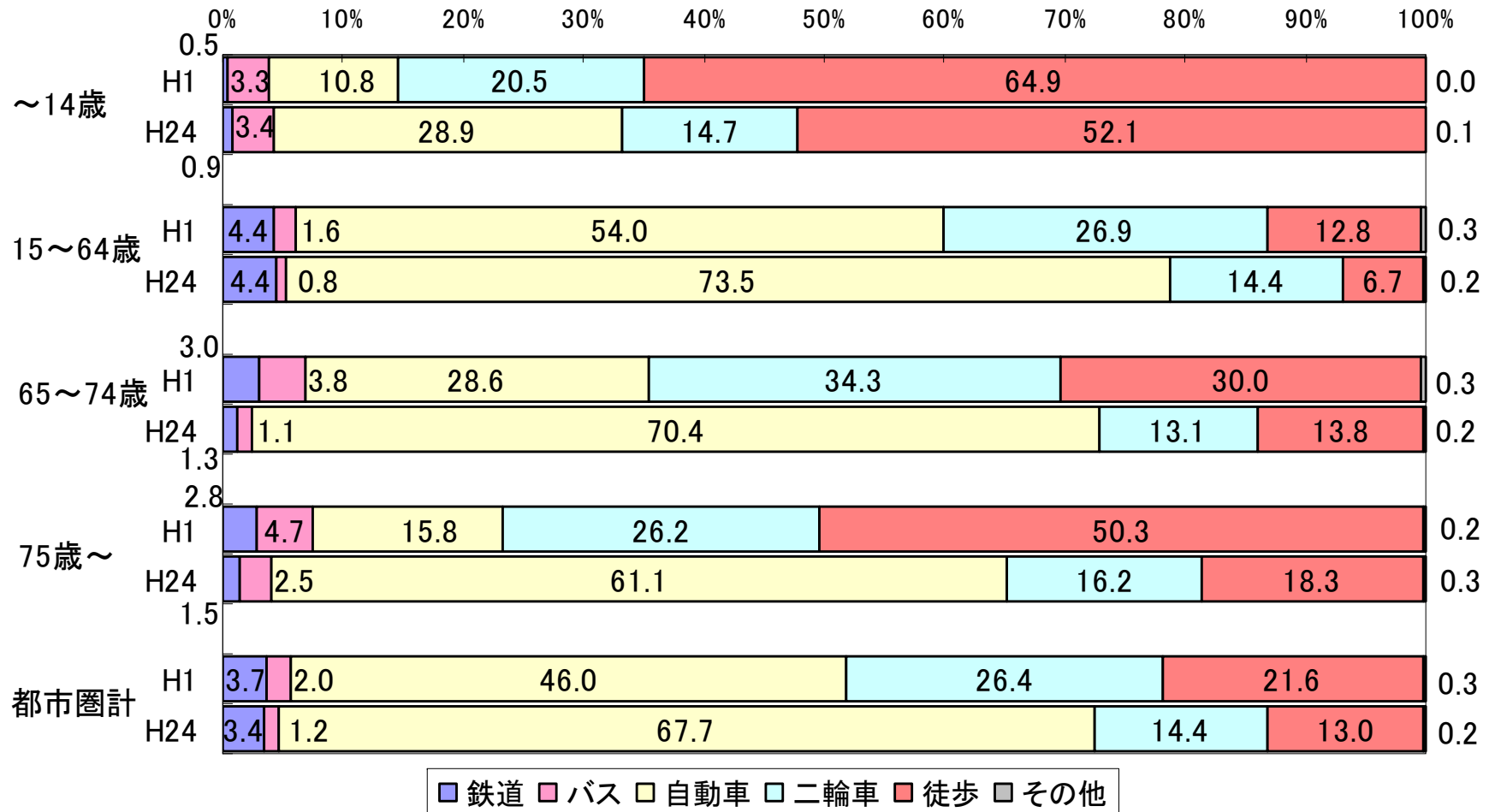


図 土地利用現況(平成21年)

出典:国土数値情報

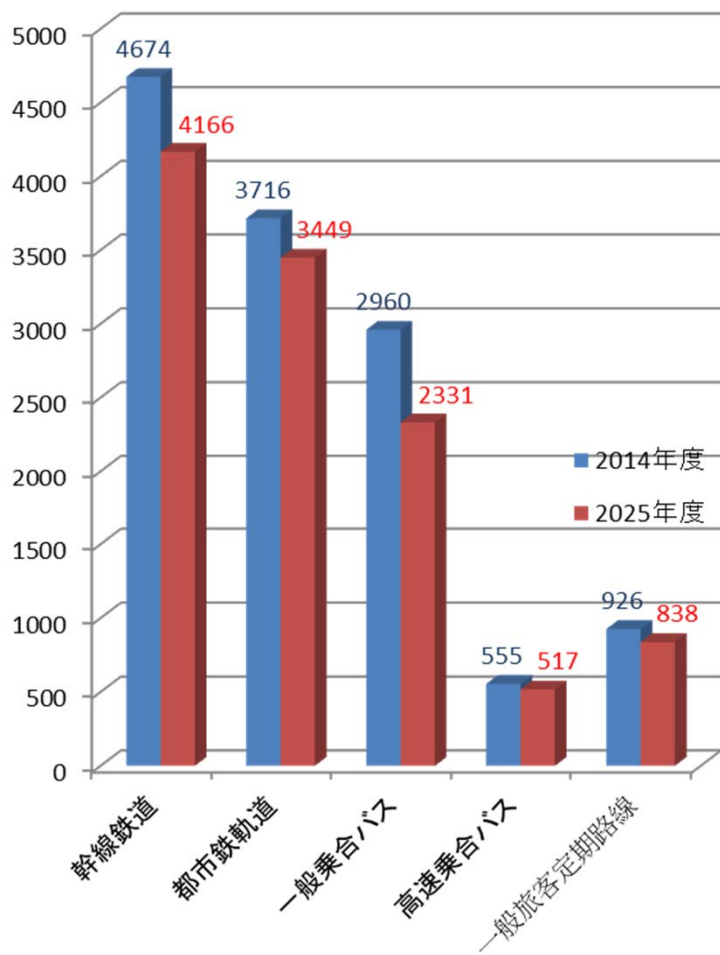
# 代表交通手段分担率（パーソントリップ調査より）



H24高松広域都市圏パーソントリップ調査資料

# 公共交通に関する指標

## 公共交通輸送人員の2025年度の推計



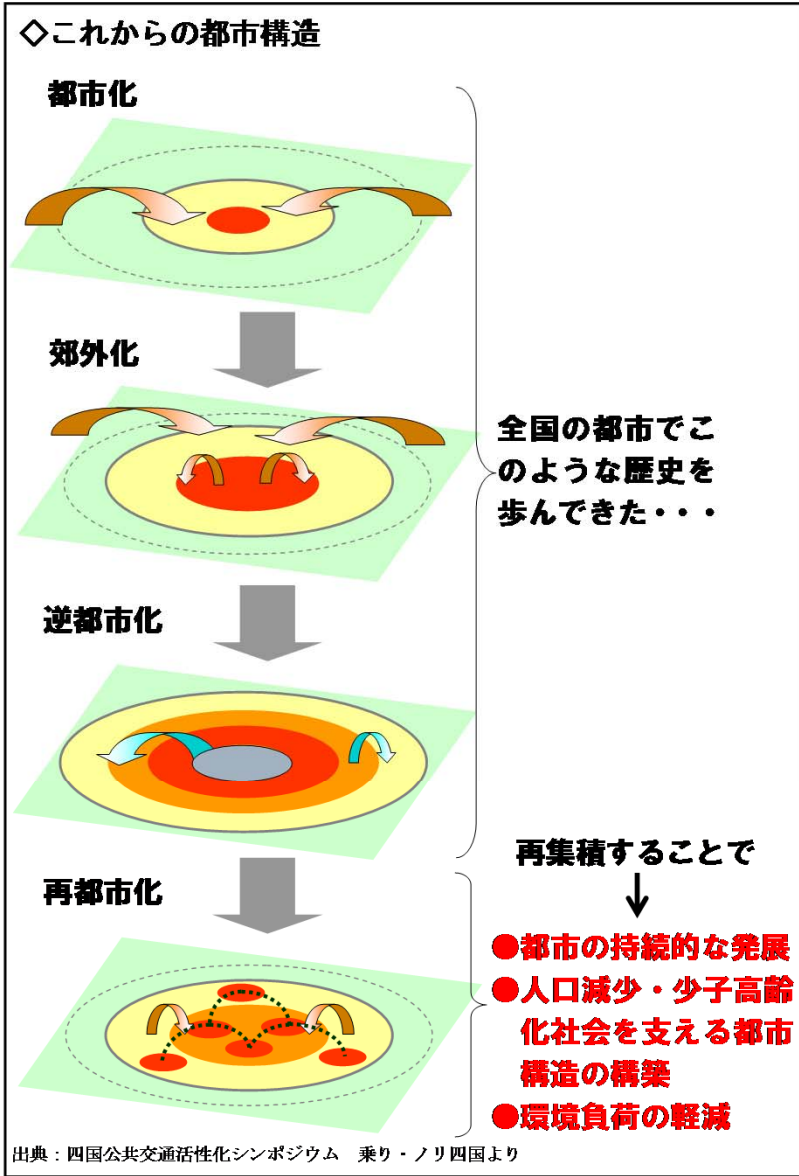
(四国運輸局提供)

## 四国運輸局推計

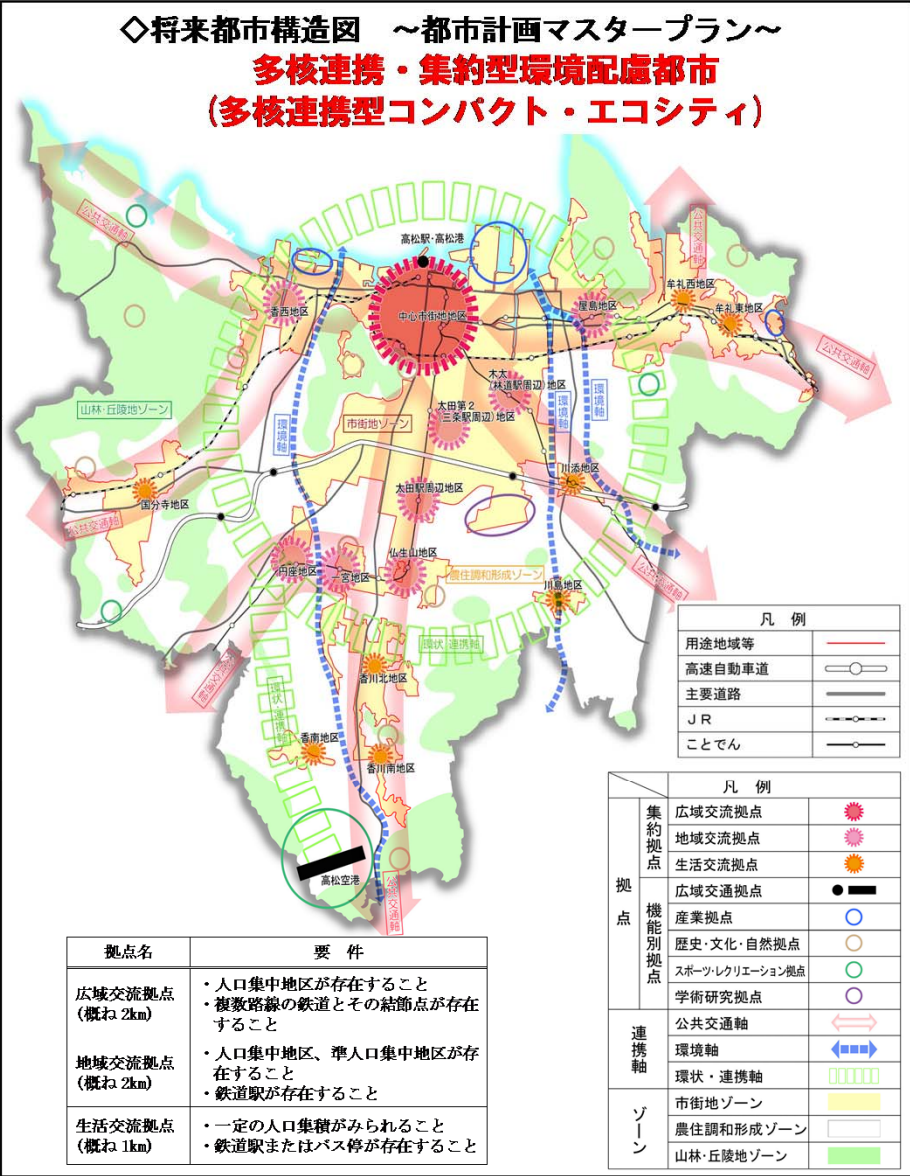
- 四国運輸局の将来推計  
外国人観光客数が24万人と仮定した場合、公共交通利用人員が  
2014年度(H26年度)1億2830万人⇒  
2025年度(H37年度)1億1300万人  
となり、1530万人の減となる
- 2025年度の減少率(2014年度比)  
幹線鉄道(JR等)・・・約11%減  
都市鉄軌道(ことでん等)・・・約7%減  
一般乗合バス・・・約21%減  
高速乗合バス・・・約7%減  
一般旅客定期航路・・・約10%減
- 地域住民の利用促進に加え、交流人口の増大による需要喚起が必要。  
利用者の増加に向け、広域的なネットワークの検討を進めていかなければならない。

各種施策の実施により、利用率の向上を目指します。

# 目指す将来都市構造 多核連携型コンパクト・エコシティ



高松市がこれから目指すべき都市の姿は・・・





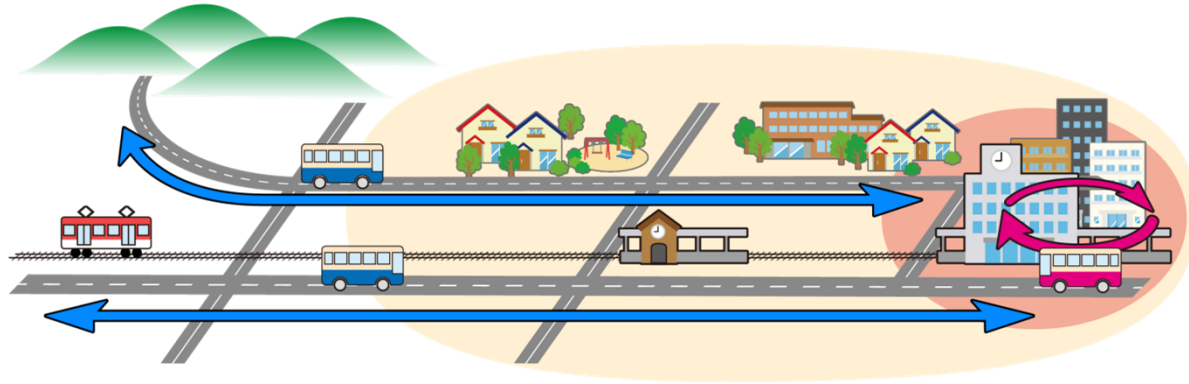
# 公共交通ネットワーク再編の考え方

## 現状

- 多くのバス系統が中心部まで運行しているため、鉄道およびバスと平行して運行する区間も多く、かつ、運行距離が長い。

このまま将来を迎えると・・・

- 鉄道とバスともに利用者数が減少
- 利用者数が少ない傾向にある郊外部からサービス低下、さらには廃線となる可能性。



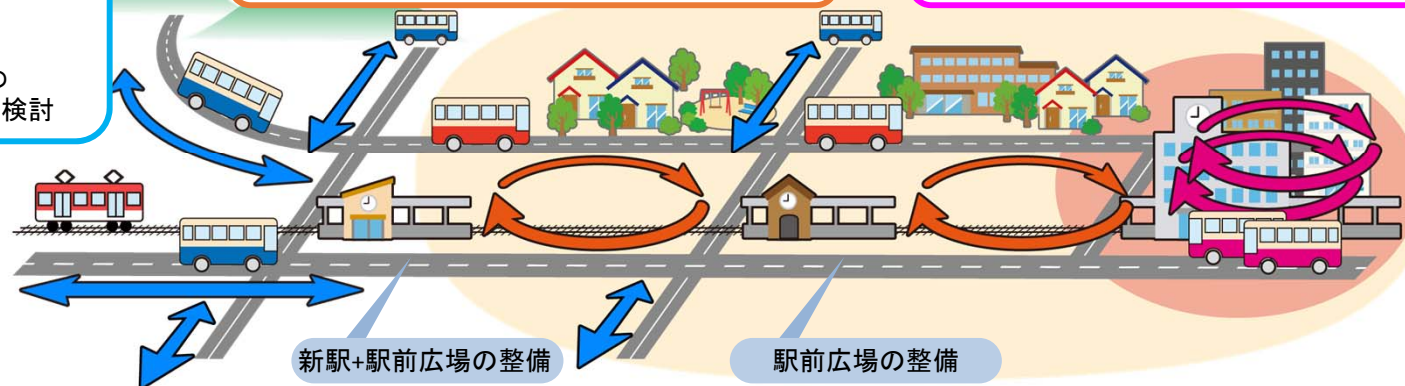
## 将来に向けた公共交通NW再構築の具体的考え方

- ① 鉄道を公共交通幹線軸と位置付け、平行して運行するバス路線区間の見直し  
⇒ 郊外部と公共交通結節拠点間のフィーダー路線化

※ 鉄道との乗継が必要となるため  
ICカードを活用した運賃体系を検討

- ② バス路線空白地域や郊外部拠点施設へのアクセス性の確保  
⇒ 上記地域・施設と公共交通結節拠点を  
経由する循環系統の運行

- ③ 都心地域内の回遊性の向上  
⇒ 都心地域内の主要施設・拠点を  
有機的に連絡する循環系統の系  
統(まちなかループバス等の強化)



# 高松市公共交通利用促進条例（H25. 9. 27施行）

本市の目指すまちづくり

多核連携型コンパクト・エコシティ



持続可能な公共交通体系の構築



・公共交通の利便性向上策の推進

・市民皆様方の積極的な利用

市、市民、事業者および公共交通事業者の責務・役割を明確化



公共交通の利用を促進し、安全かつ快適で人にやさしい都市交通の形成に寄与

高松市公共交通利用促進条例の制定

好循環

交通政策課  
【マネジメント上の戦略】



ビジョン

組織の目指すべき姿

公共交通の利用促進に本気で取り組む  
組織の構築(職員全員で共有)

ミッション(使命)

組織戦略・意思決定

- ・公共交通利用者の減少傾向に歯止めをかけ、本市の人口に占めるその割合を、**年々、増加**させること！
- ・全市域において、**公共交通空白地域を解消**すること！

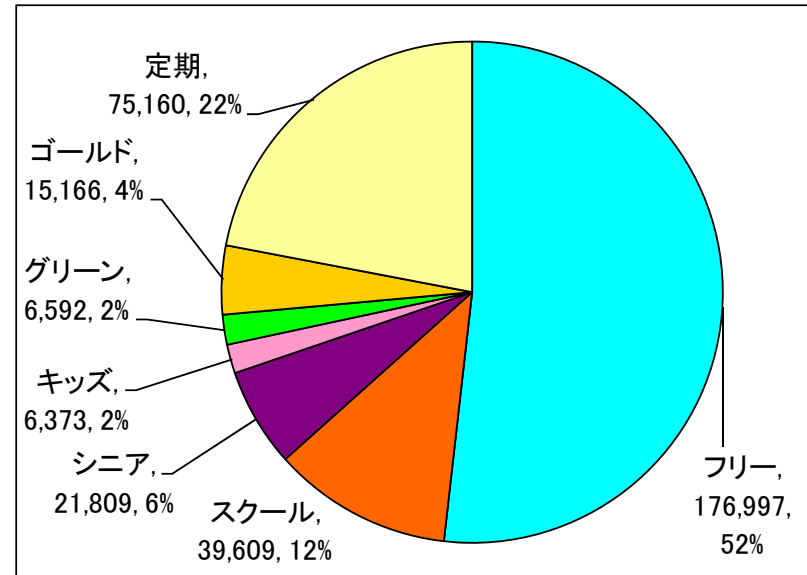
# IruCa発売・利用実績

- 1) サービス開始 平成17年2月2日
- 2) 利用範囲 ことでん全線52駅・ことでんバス全路線96両・  
県内他バス会社路線・商店街、公共施設等  
IruCa加盟店での電子マネー利用
- 3) カードタイプ 交通系タイプC (SONY FeliCa)  
サイバネ規格 (鉄道共通規格)
- 4) カード決済方式 プリペイド決済のみ (カード内上限2万円)

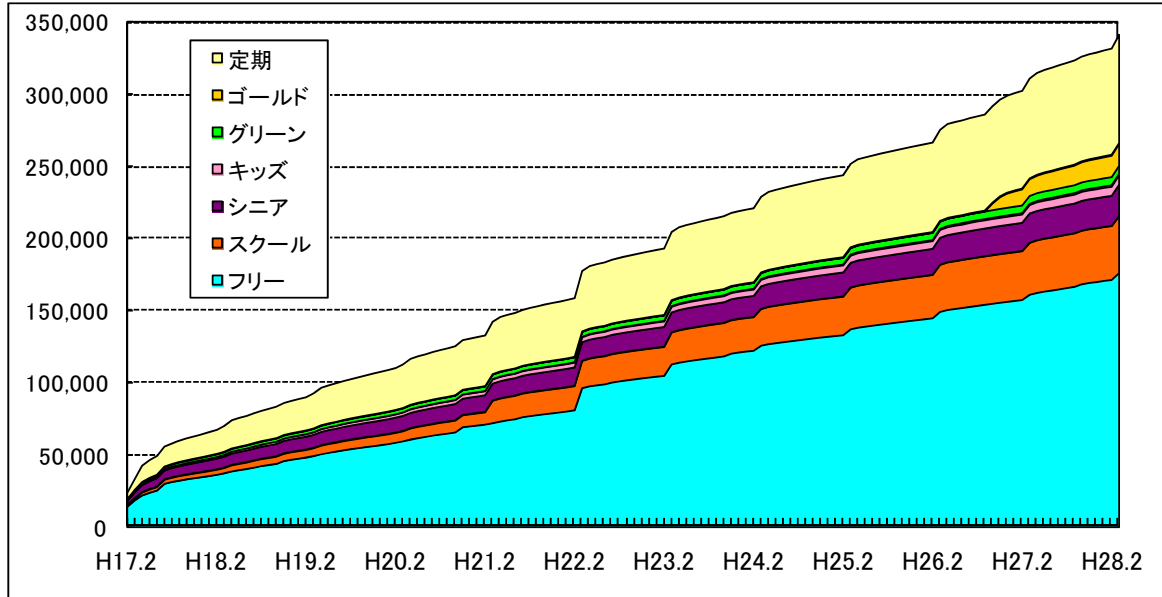
- 5) 発売枚数 **341,706枚**
- 6) 券種別内訳 SFカード 266,546枚  
定期券 75,160枚



平成28年3月31日現在



- 7) 一日(平日)当りSF利用件数 約 14,000 件
- 8) 市内3駅 IruCa乗降客数(平日)
  - ◆高松築港駅 4,200人
  - ◆片原町駅 4,200人
  - ◆瓦町駅 12,000人
- 9) 一日平均電車バス乗継件数 約 900件



IruCa利用率  
平成27年度 **80.3%**

## ■IruCaポイントサービスの概要

電子マネーを利用した場合、1ヶ月間の利用金額に応じた「IruCaポイント」を付与。溜まったポイントを電子マネーとしてチャージ還元し、電車・バスの乗車に、また電子マネーとしてお買い物にご利用いただく。このように中心市街地と公共交通機関をポイントサービスで結びつけることにより、中心市街地活性化の強力なツールとする。



○サービス開始：平成20年2月ご利用分から

○ポイントの種類

- ・共通ポイント……全ての電子マネー利用100円毎に1ポイント
- ・加盟店ポイント……お店が希望した場合、そのお店での利用に対し割増ポイント
- ・特定日ポイント……イベントなどにあわせて割増ポイント
- ・その他

○還元方法：チャージバック



# ■IruCaの交通機関以外への広がり

## お買い物

中央商店街他



18/11~



## 身分証

20/11~



22/1~



学生証・職員証



高松市職員証

## 公共施設

20/3~

高松市  
美術館



県立  
ミュージアム



## 行政サービス

21/11~

住民票・納税証明書等

26/10~

70歳以上運賃半額  
ゴールドIruCa



## 観光地

小豆島 寒霞溪ロープウェイ

栗林公園



小豆島 二十四の瞳映画村



## 医療機関



高松市民病院診療費



県立中央病院  
売店、チャージ機

## 提携カード

キャッシュ+クレジット  
カード一体型

24/2~

## ■香川大学・高松市との提携

香川大学身分証にIruCa採用  
平成20年11月 職員証 / 平成21年4月 学生証



瓦町駅にて 香川大学 学長様との取材対応

平成21年11月  
高松市役所の市民課・納税課で  
証明書発行手数料支払いにIruCa利用開始



高松市役所にて 高松市長様によるIruCa利用開始PR

平成22年1月高松市職員証にIruCa採用



高松市役所にて 高松市長様との取材対応

# ■県内交通機関へのIruCaの広がり

## ことでん・ことでんバス



平成17年2月

## 高松市レンタサイクル

駅・バス停から市内の移動に。  
(利用証としても登録可能)



- 高松駅前広場地下
- 瓦町地下
- 市役所
- 片原町駅前
- 栗林公園駅前
- 栗林駅前
- 丸亀町グリーン

平成24年4月

## 高松市コミュニティバス・乗合タクシー

- ・香南町コミュニティバス
- ・塩江町コミュニティバス
- ・国分寺町コミュニティバス
- ・山田地区乗合タクシー
- ・高松西部地区乗合タクシー

平成26年10月

## 小豆島オーリーブス

- ・坂手線
- ・福田線
- ・他 全路線



平成23年1月

## 小豆島航路

土庄、池田、草壁の3航路



平成23年10月

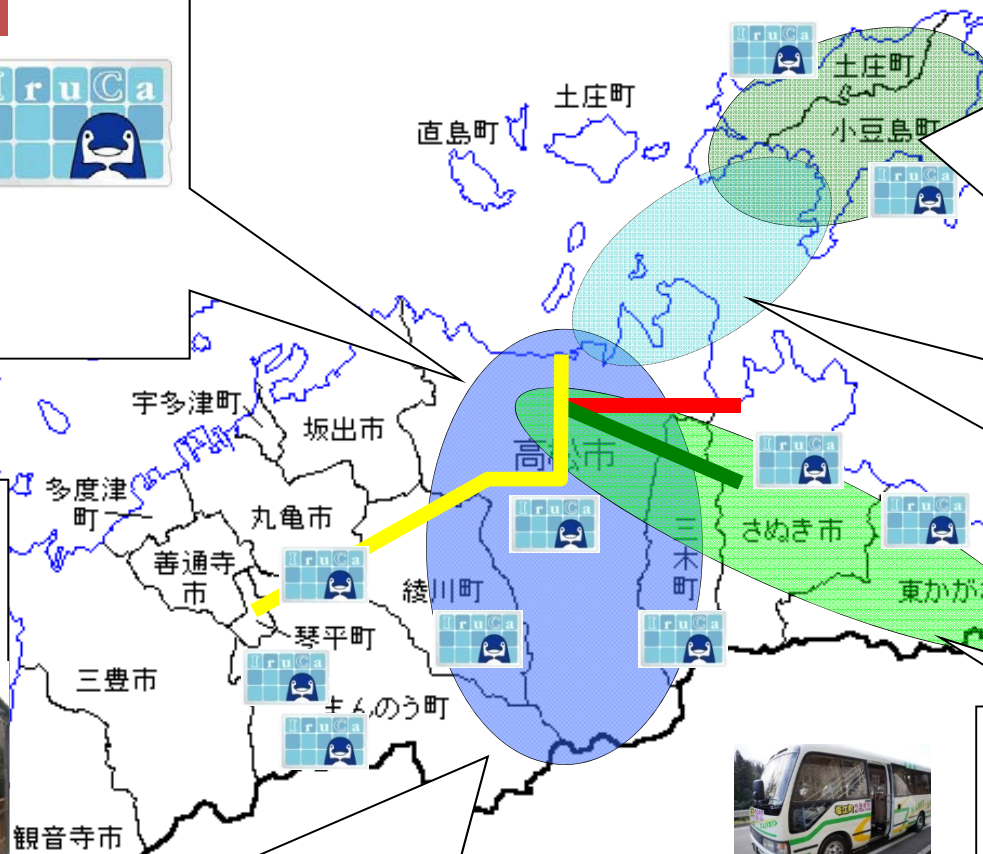
## 大川バス



- ・高松引田線
- ・五名福栄線

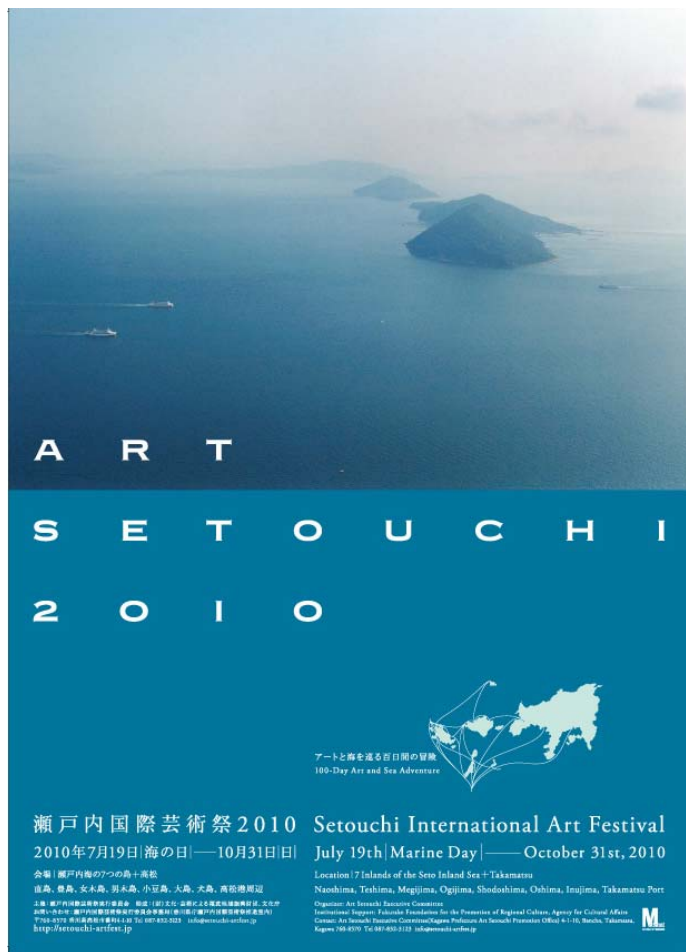


平成24年3月





## 行政イベントとの連携



ART  
SETOUCHI  
2010

アートと海を巡る百日間の冒険  
100-Day Art and Sea Adventure

瀬戸内国際芸術祭2010 Setouchi International Art Festival  
2010年7月19日(海の日)〜10月31日(日)  
July 19th | Marine Day | October 31st, 2010

会場 | 瀬戸内海のつなぐ島十数校  
直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、犬島、大島、高松港周辺

主催 | 瀬戸内海国立海洋博物館 協賛 | 国土庁 芸術文化政策推進課 文化庁  
共同主催 | 瀬戸内海国立海洋博物館 香川県 香川県観光局 香川県立美術館 瀬戸内国際芸術祭実行委員会  
776-8755 瀬戸内海国立海洋博物館 TEL: 087-882-0261 info@setouchi-artfest.jp  
http://setouchi-artfest.jp

Location: 17 Islands of the Seto Inland Sea + Takamatsu  
Naoshima, Teshima, Megijima, Ojijima, Shodoshima, Oshima, Inajima, Takamatsu Port

Organizer: Art Benesse Foundation Committee  
Sponsor: Japanese Foundation for the Promotion of Regional Culture, Agency for Cultural Affairs  
Co-sponsor: Art Benesse Foundation Committee, Kagawa Prefecture, Art Benesse Foundation Office (I-10), Benesse, Takamatsu  
Kagawa 168-8700 TEL: 087-882-0261 info@setouchi-artfest.jp



【瀬戸内国際芸術祭  
2010記念IruCa】

香川県や四国運輸局と連携イベント等を実施し、  
公式の記念IruCaを発行。



香川は異国。  
時を忘れる国。

09 香川まらめぐり  
**てくてくIruCa**  
さめきで「遊ぼう」2009.7月▶9月

香川県  
TEL: 087-425-5125



【てくてくIruCa】



ICカード実証実験  
**IruCaで直島楽々周遊**  
平成21年10月1日(木)〜12月20日(日)

直島へのアクセス、施設利用等に便利なIruCaカードが使えます!!

【IruCaカードで利用できる内容】

- 高松〜直島間のフェリー乗船券
- 直島町営バス乗車券
- レンタサイクル
- ベネッセハウスミュージアム・家プロジェクト・地中美術館鑑賞券
- 食事・物産・お土産
- ★ IruCaカード利用可能施設
- ★ IruCaカードチャージ機設置場所

★高松空港  
ANA FESTA ロビー店  
スカイ J ロビー店  
さめき 総業 空港店  
宮脇書店 空港売店

※詳細は裏面をご覧ください  
主 催：直島におけるIruCa導入による公共交通活性化協議会  
お問い合わせ：四国運輸局 企画広報部 交通企画課 TEL: 087-835-8356



【なおしまIruCa】

## ■高松市公共交通利用促進の取り組み (乗継割引拡大及び高齢者割引)

高松市において、平成25年9月に『高松市公共交通利用促進条例』が施行され、これを契機に、公共交通利用促進の具体的な取り組みの一環として、市の助成により、IruCaを使った電車バス乗継割引を20円から100円に拡大するサービスを開始しました。

平成26年  
3月1日(土)から  
IruCaを使った  
電車↔バスの  
乗り継ぎ割引が  
20円引から  
**100円引**  
になります!

※フリーIruCa: スターIruCa/ニアIruCa/イruCa定期券(大人)による乗継割引対象全路線。  
※100円未満のバス路線等で、割引後にマイナスになる場合の運賃は0円(無料)です。

御老公は  
ゴールドイルカで  
運賃半額!

平成26年10月1日より発行開始。  
70歳以上の高松市民が対象。

※詳しくはIruCa窓口(高松市内乗入駅及びIruCaバス乗降所)まで  
お問い合わせください。

平成26年10月より、70歳以上の高松市民を対象に、運賃が半額となる専用のIruCa(ゴールドIruCa)の発行を開始しました。公共交通の利用促進と、交通弱者である高齢者の利便性向上を図ります。

# 公共交通利用促進施策「電車バス乗継割引拡大制度」

## 概要

ICカード「IruCa」による電車⇔バス利用時における

**乗り継ぎ割引額(20円)を100円に拡大** [H26. 3. 1から制度開始]

フリー スクール (中・高校生、大学生) シニア (65歳以上)

乗継 乗継

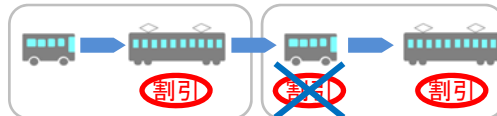
運賃を100円割引  
※運賃が100円以下の場合<sup>は</sup>無料

※以下の場合<sup>は</sup>適用されません

◇バスとバスの乗り継ぎ



◇電車とバスの各組合せ以外の乗り継ぎ



なら、さらにお得

定期

その日の鉄道利用が無くても

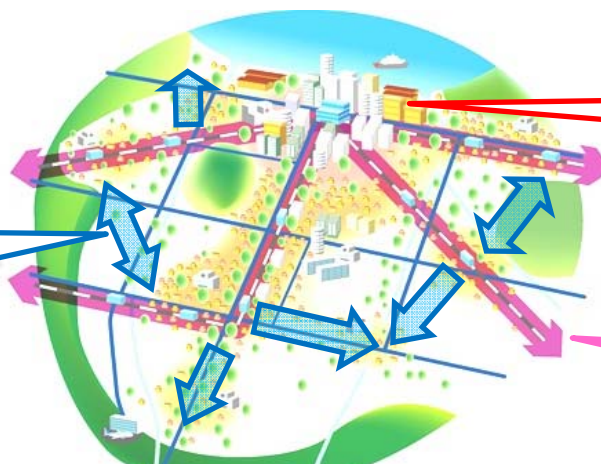
全てのバスが100円割引



適用されません

## 事業実施による効果

①主要鉄道駅からの支線となる  
フィーダー交通(路線バス等)  
サービスの向上



②中心市街地を運行する  
路線バス等のちよいのり促進

③鉄道を基軸とした  
公共交通幹線軸の強化

**電車とバス** それぞれの機能(役割)を最大限活用し、**効率的なネットワーク形成**を目指す。

# 公共交通利用促進施策「電車バス乗継割引|拡大制度」

## 補助スキーム

初期費用(システム改修費等)  
運賃割引額の差額補填

補助金として市が交付  
H25年度交付額: 6,000千円  
H26年度交付額: 23,328千円  
H27年度交付額: 23,328千円

## 利用実績

### 【利用実績】

電車⇔バス乗り継ぎ件数

平成25年度	252,612件	【実施前】
平成26年度	320,855件	(実施前比約27%増)
平成27年度	330,087件	(実施前比約28%増)

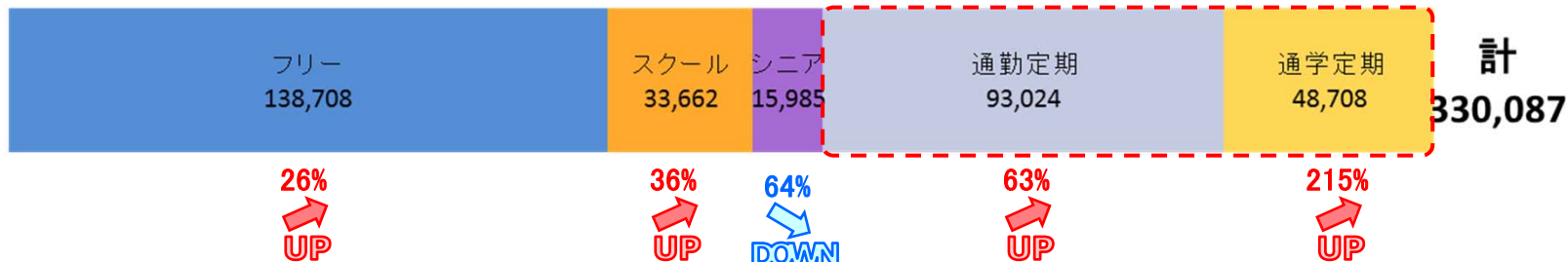
H25年度

導入前  
H25.3~H26.2



H27年度

導入後  
H27.4~H28.3



定期IruCaによる乗り継ぎ件数の増加が顕著

ICカード導入

# 公共交通利用促進施策「高齢者に対する公共交通利用支援」

## 概要

平成26年10月1日から制度開始



ゴールドIruCa

ICカード「IruCa」を活用し、**市内に在住する70歳以上**の方を対象として、

**IruCaが導入されている電車、路線バス、コミュニティバス等の運賃を半額にする「新IruCaカード(ゴールドIruCa)」を発行**

## 補助スキーム

項目	年度	補助金
初期費用(システム改修等)	H26	10,141千円
運賃割引額の差額補填	H26	39,651千円
	H27	98,006千円

# 公共交通利用促進施策「高齢者に対する公共交通利用支援」

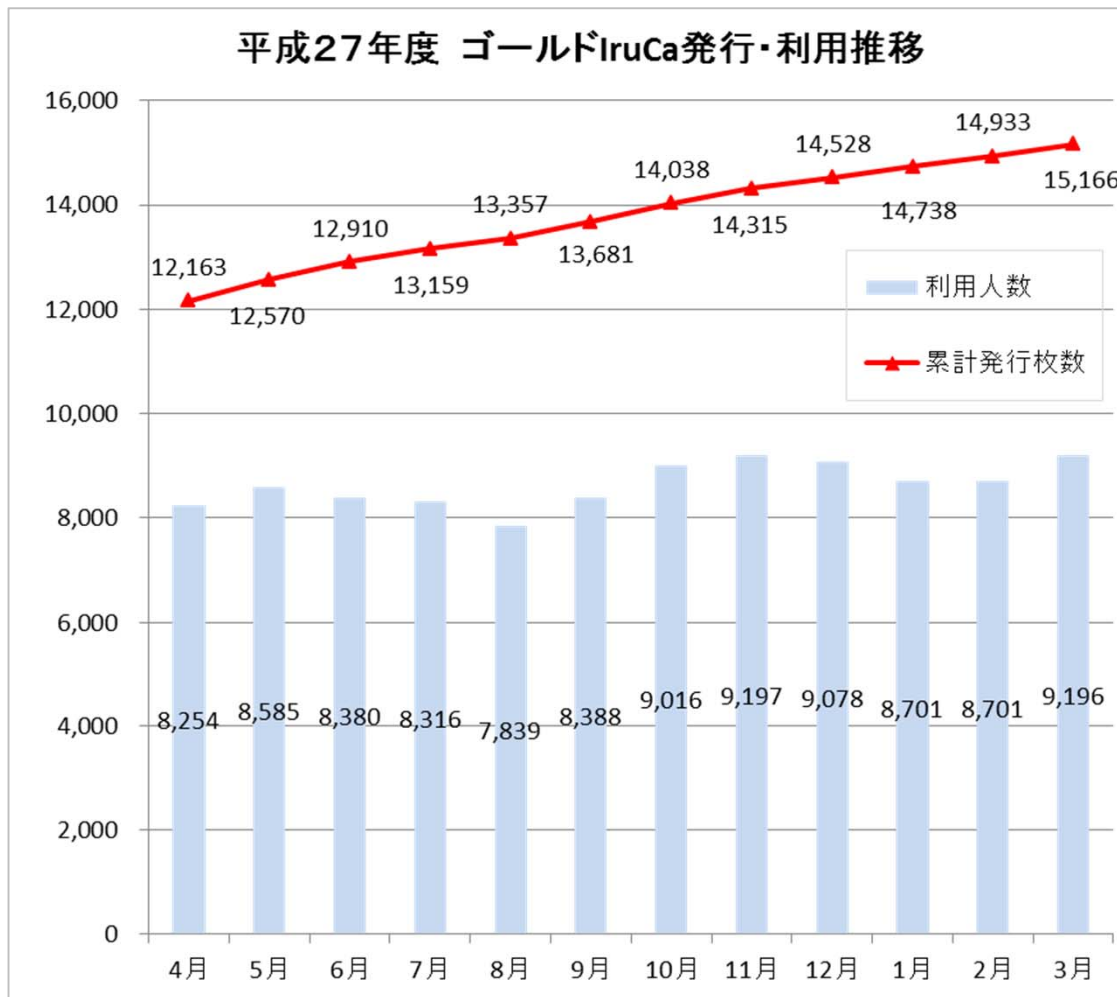


## 利用実績等

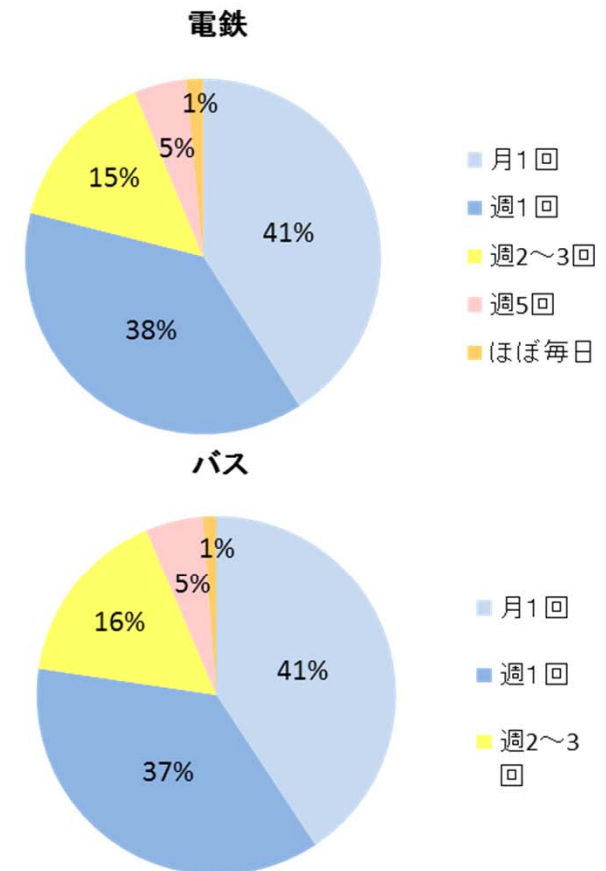
【販売枚数】 15,166枚 (平成28年3月末現在)

⇒70歳以上人口77,145人 (平成28年3月末現在) **保有率 約20%**

平成27年度 ゴールドIruCa発行・利用推移



平成27年度 利用頻度



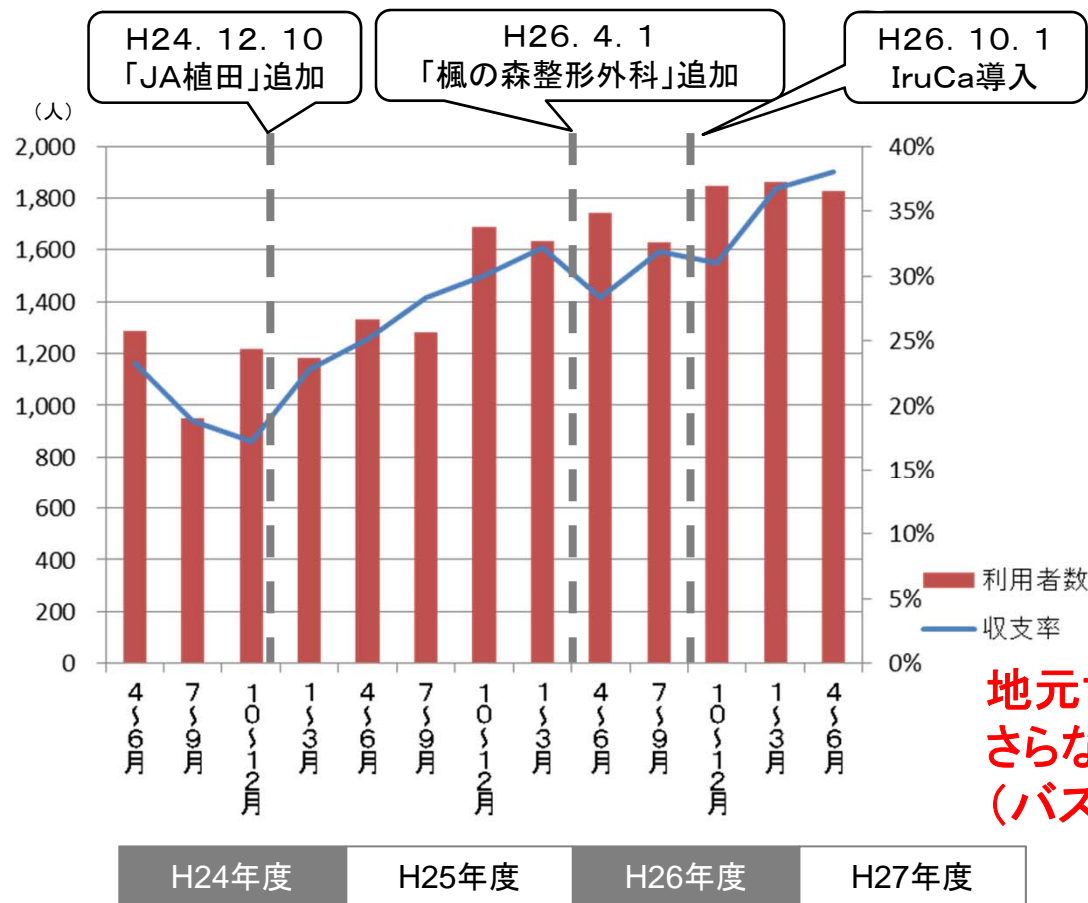
# 公共交通利用促進施策「住民との協働によるコミバス運行」

## ○ 山田地区乗合タクシー「どんぐり号」

地域(山田地区乗合タクシー等実行委員会)の主導により、

運行ルート及びダイヤの見直し検討等を随時行っている

### ➡ 利用者増加及び運行収支率の改善



地元協賛金(広告料等)を確保し、さらなる運行改善に要する費用(バス停の修繕等)を捻出している

# 公共交通利用促進施策「IruCa利用環境の拡大」

ICカード「IruCa」が利用可能となるよう、**市域内を運行するコミュニティバスにシステムを導入**

区分	運行事業者	路線名	IruCaシステム導入状況
鉄道	高松琴平電気鉄道(株)	全線	済
路線バス	ことでんバス(株)	全線	
	大川自動車(株)	引田線	
コミュニティバス等	ことでんバス(株)	香川町シャトル	
		まちバス	
	東讃交通(株)	山田地区	
	マルイ観光(株)	香川町	
		国分寺町	
塩江町			
平成レッグス(株)・日新タクシー(株)	高松西部地区		



## ■高松市公共交通利用促進の取り組みについて

高松市において、公共交通利用促進の施策として、他にも、さまざまな取り組みをご検討いただいております。

- ・運転免許返納者にシニアIruCa配布 1万円へ増額 →平成26年7月
- ・コミュニティバス・乗合タクシーへIruCa拡大 →平成26年10月

### 運転免許自主返納

5) 問い合わせは同室〈087(8339)255

度の利用は517人だったが、12年度356人、13年度315人と減少傾向にある。同室は「積極的に制度を活用し、電車やバスなどの公共交通を利用してほしい」と呼び掛けている。

同室によると、事業は10年度から実施。初年度の利用は517人だったが、12年度356人、13年度315人と減少傾向にある。同室は「積極的に制度を活用し、電車やバスなどの公共交通を利用してほしい」と呼び掛けている。

### IruCaか1万円分交付 高松市 高齢者の特典拡充

高松市は、運転免許証を返納した65歳以上の高齢者に、琴電のICカード乗車券「IruCa」を交付している事業で、1日からチャージ金額を1万円に倍増する。加えて、1万円をチャージしたJRのICカード乗車券「ICOCA」も選択できるようになる。

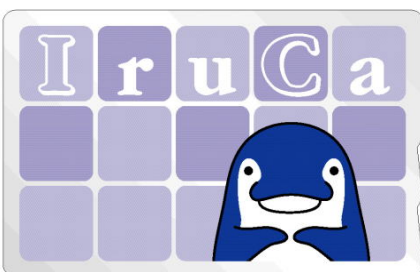
特典の拡充で自主返納を促し、高齢者の事故防止と公共交通機関の利用促進を図るのが狙い。

対象は、2010年4月以降に免許証を自主返納した65歳以上（返納時点）の市民。運転免許センターなどで免許取り消しを申請した上で、交通安全対策室に免許の取り消し通知書などの書類を持参し、いずれかのカード乗車券を選択する。特典は1回のみ。



コミュニティバス

乗合タクシー



シニアIruCaを配布  
5,000円→1万円に  
拡大

# 公共交通利用促進施策「高齢者運転免許証返納促進事業」

## 概要

市内に在住する65歳以上の方を対象として、**運転免許証を返納した場合**



シニアIruCa(JR以外の公共交通)



ICOCA(JR)

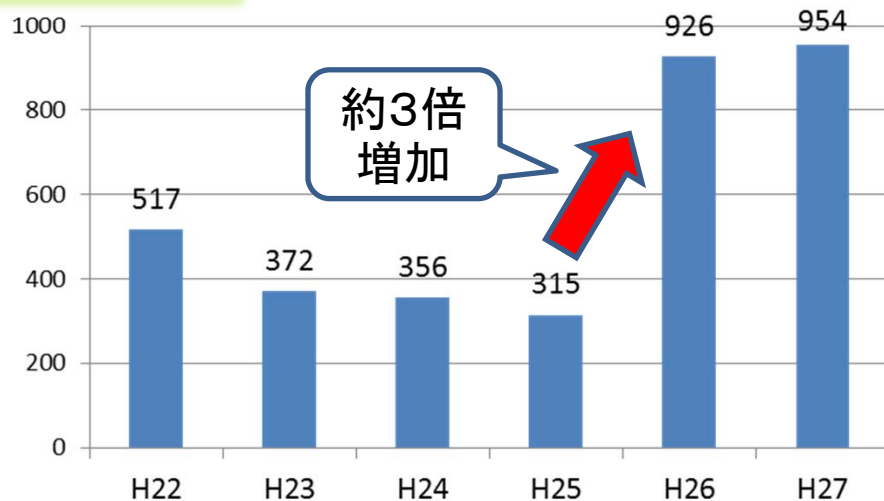
**10,000円分のインセンティブを付与した公共交通系ICカードを発行**

身体能力の衰えにより、運転に不安を感じる高齢者に対し、  
運転免許証を返納するきっかけをつくり、  
**自動車から公共交通へと転換を図り、かつ交通事故を抑制**

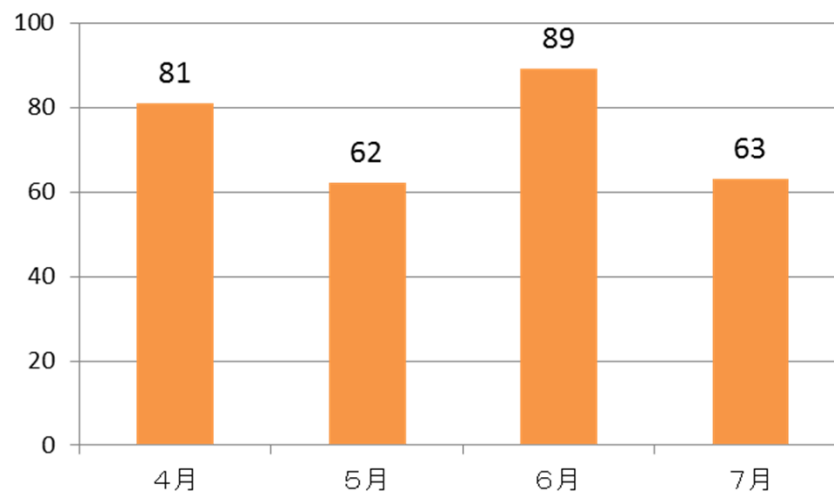
**平成22年4月1日から制度開始。26年7月から制度を拡充！**

## 発行実績

〔年度別発行数 単位 枚〕



〔28年度 月間発行数 単位 枚〕



## ■交通系ICカードとの共通利用

大都市圏では、交通系ICカードの共通化が図られており、地方都市は取り残されている状況である。

地方の交通機関では、大都市圏からのビジネスや観光客の利便性の妨げになっている。

### 【利用方法】

- ・(片側利用)全国相互利用カードのIruCaエリアでの利用  
→現実的にはまずこちらを検討。
- ・(相互利用)IruCaの全国相互利用カードエリアでの利用  
→課題が多い。



### 香川県



## ■IruCa今後の課題 ～交通系カードから地域カードへ～

### その他ICカードとの連携

- 交通系カードとの共通利用 Suica、ICOCA、PASMO等
- 商業系カードとの共存 WAON、Edy、nanaco等

### IruCaの更なる利便性向上

- 県内バス会社、航路、タクシー等、交通機関への更なる拡大。JR四国との連携
- 学生証、社員証、会員証、診察券、ポイントカード等、ICカードの付加機の拡大

IruCaの目指すところ

公共交通  
利用促進

地域活性化

安全安心の  
まちづくり

# コンパクトシティ・プラス・ネットワークのための計画制度

- 平成26年に改正した都市再生特別措置法及び地域公共交通活性化再生法に基づき、都市全体の構造を見渡しなが、居住機能や医療・福祉・商業等の都市機能の誘導と、それと連携した持続可能な地域公共交通ネットワークの形成を推進。
- 必要な機能の誘導・集約に向けた市町村の取組を推進するため、計画の作成・実施を予算措置等で支援。

## 立地適正化計画（市町村が作成）

【改正都市再生特別措置法】(平成26年8月1日施行)

### 都市機能誘導区域

生活サービスを誘導するエリアと当該エリアに誘導する施設を設定

拠点エリアへの医療、福祉等の都市機能の誘導

### ◆都市機能（福祉・医療・商業等）の立地促進

- 誘導施設への税財政・金融上の支援
- 福祉・医療施設等の建替等のための容積率の緩和
- 公的不動産・低未利用地の有効活用

### ◆歩いて暮らせるまちづくり

- 歩行空間の整備支援

歩行空間や自転車利用環境の整備

### ◆区域外の都市機能立地の緩やかなコントロール

- 誘導したい機能の区域外での立地について届出、市町村による働きかけ

### 居住誘導区域

居住を誘導し人口密度を維持するエリアを設定

公共交通沿線への居住の誘導

### ◆区域内における居住環境の向上

- 住宅事業者による都市計画等の提案制度

### ◆区域外の居住の緩やかなコントロール

- 一定規模以上の区域外での住宅開発について、届出、市町村による働きかけ

多極ネットワーク型コンパクトシティ

拠点間を結ぶ交通サービスを充実

乗換拠点の整備

## 地域公共交通網形成計画

【改正地域公共交通活性化再生法】(平成26年11月20日施行)

- 地方公共団体が中心となり作成
- まちづくりとの連携
- 地域全体を見渡した面的な公共交通ネットワークの再構築

## 地域公共交通再編実施計画

(地方公共団体が事業者等の同意の下作成)

拠点エリアにおける循環型の公共交通ネットワークの形成

コミュニティバス等によるフィーダー(支線)輸送

デマンド型乗合タクシー等の導入

国土交通大臣の認定

関係法令の特例・予算支援の充実

→加えて、地域公共交通ネットワークの再構築を図る事業への出資等の制度を創設するための地域公共交通活性化再生法等の一部改正法が本年5月に成立

立地適正化計画

地域公共交通再編実施計画

連携

好循環を実現

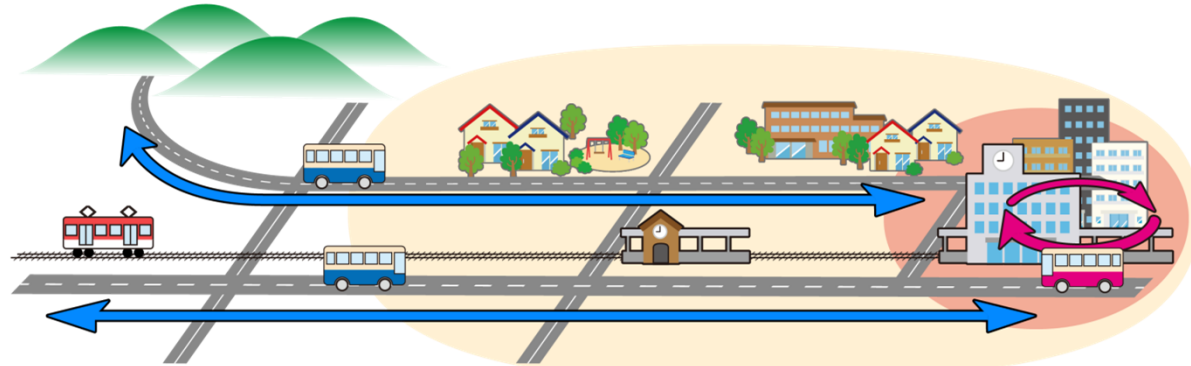
# 公共交通ネットワーク再編の考え方

## 現状

- 多くのバス系統が中心部まで運行しているため、鉄道およびバスと平行して運行する区間も多く、かつ、運行距離が長い。

このまま将来を迎えると・・・

- 鉄道とバスともに利用者数が減少
- 利用者数が少ない傾向にある郊外部からサービス低下、さらには廃線となる可能性。



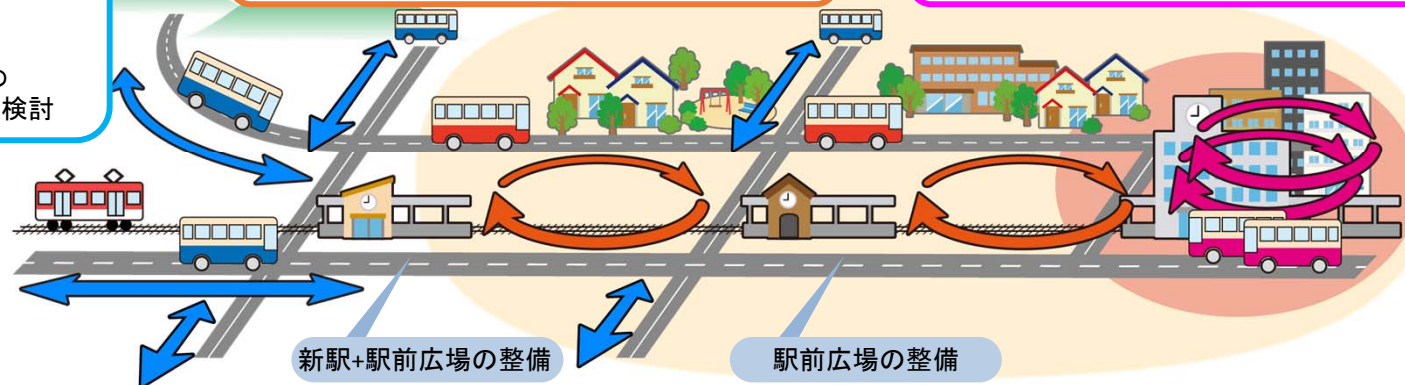
## 将来に向けた公共交通NW再構築の具体的考え方

- ① 鉄道を公共交通幹線軸と位置付け、平行して運行するバス路線区間の見直し  
⇒ 郊外部と公共交通結節拠点間のフィーダー路線化

※鉄道との乗継が必要となるためICカードを活用した運賃体系を検討

- ② バス路線空白地域や郊外部拠点施設へのアクセス性の確保  
⇒ 上記地域・施設と公共交通結節拠点を經由する循環系統の運行

- ③ 都心地域内の回遊性の向上  
⇒ 都心地域内の主要施設・拠点を有機的に連絡する循環系統の系統(まちなかループバス等の強化)



# まちなかループバス

既存3路線(①まちバス、②市民病院ルート、③県中病院線)を再編

平成27年10月1日から運行開始

## 運行サービス概要

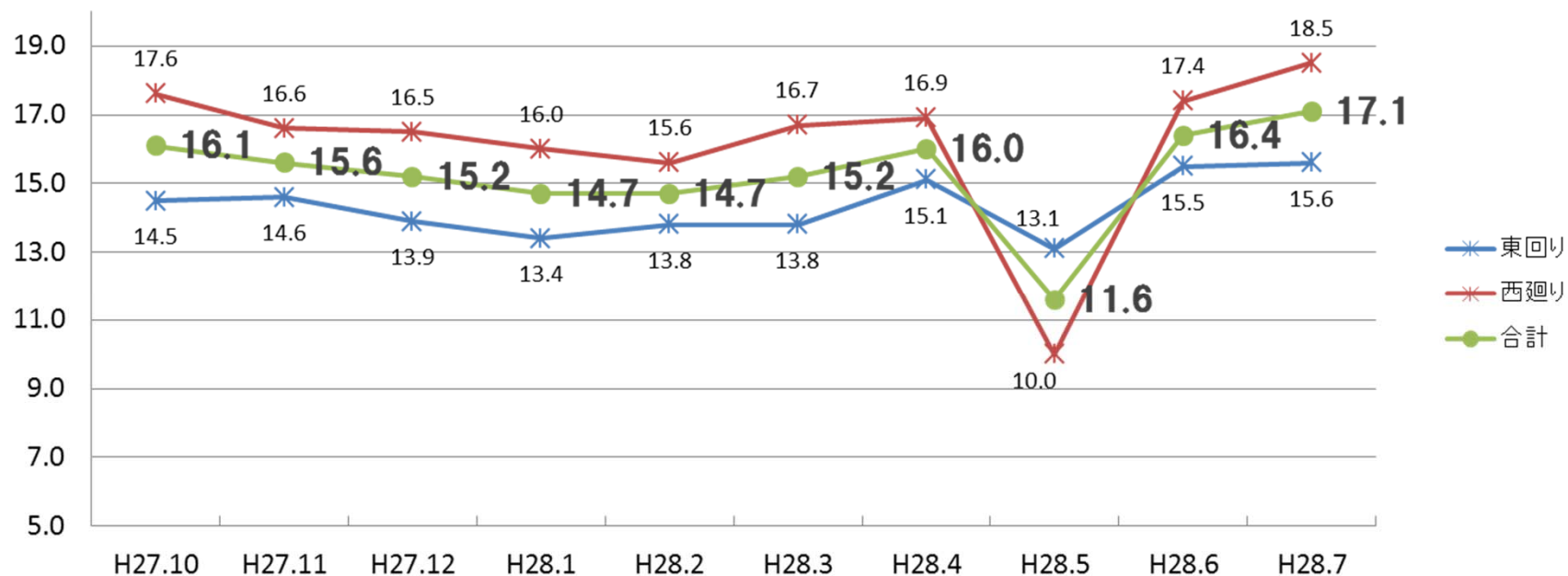
〔運行形態〕 双方向循環(片方向2台:計4台) 〔運行便数〕 平日:38便 土、日、祝日:34便  
車両内訳[小型1台(丸亀町所有) 中型ノンステップ3台(ことでんバス所有)]  
〔運賃:運行間隔〕 150円(均一・大人※子ども等は80円) 40分間隔  
〔運行時間帯〕 東周り 平日7:00~20:15 休日7:40~19:35  
西周り 平日7:20~20:35 休日8:00~19:55

市民病院  
ループバスに準拠



# まちなかループバス

## 利用状況



## 補助スキーム

- ① 初期費用  
(乗降カウンター設置等)
- ② 欠損額補填

補助金として市が交付

- ① 9,233千円
- ② 10,304千円(H27.10~H28.3)

平成28年度 効果検証のための調査及びPR事業



# まちなかループバスの運行車両更新に対する支援

まちなかループバス新車両お披露目式(平成28年3月31日)



ノンステップバスの導入

高松丸亀町商店街振興組合が所有する現行バス1台を、ノンステップ車両に更新するため、国・市による支援(国費2/3、市費1/3)。

平成28年3月31日に、新車両お披露目式、4月1日から運用した。



# バス案内表示板設置事業

## 概要

平成28年3月31日 設置・運用開始

○県外からの観光客や携帯端末に不慣れな高齢者にとって、分かりやすい情報提供ツール（情報表示板）を設置することにより利便性を向上



H28.3.31 オープニング式典の様様

## 設置場所



## 設置場所のポイント

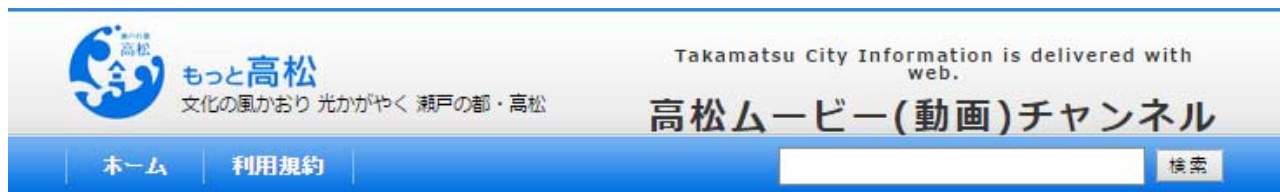
駅利用者の動線付近（目に付く場所）に設置 ⇒ 情報を効果的に提供  
【JR高松駅構内】改札を出た後の駅舎構内  
（バスを移動選択肢の一つとして認知を図る）  
【バスターミナル】全体が見渡せる場所  
（目的のバス停への誘導を図る）



# 公共交通利用促進施策「公共交通プロモーション映像作成」

これからの本市における公共交通の在り方、とりわけ、「**地域におけるコミュニティ交通**」について、市民の皆様に分かりやすく説明する啓発用映像資料(プロモーション映像)を作成し、インターネット上で配信するとともに、各地域での出前講座等において活用していく。

【高松ムービー(動画)チャンネル <http://takamatsu.mothertown.tv/channel/ch5/322.html>】



## 平成27年9月30日「みんなでつくる 地域の交通 オーライ!!たかまつ」

これからの本市における公共交通の在り方、とりわけ、「地域におけるコミュニティ交通」について、市民の皆様に分かりやすく説明する啓発用映像資料(プロモーション映像)です。

# 公共交通利用促進施策「カーフリーデー高松」

## 概要

普段、車が通行する道路空間を通行禁止とし、

**交通や環境、都市生活と車の使い方について考える社会啓発活動を実施**

平成20年度から年1回開催(今年度で9回目)

例年、モビリティウィーク(9/16~22)の期間内に実施

## 開催の様子

ミニ電車・SL乗車体験



オープンカフェ

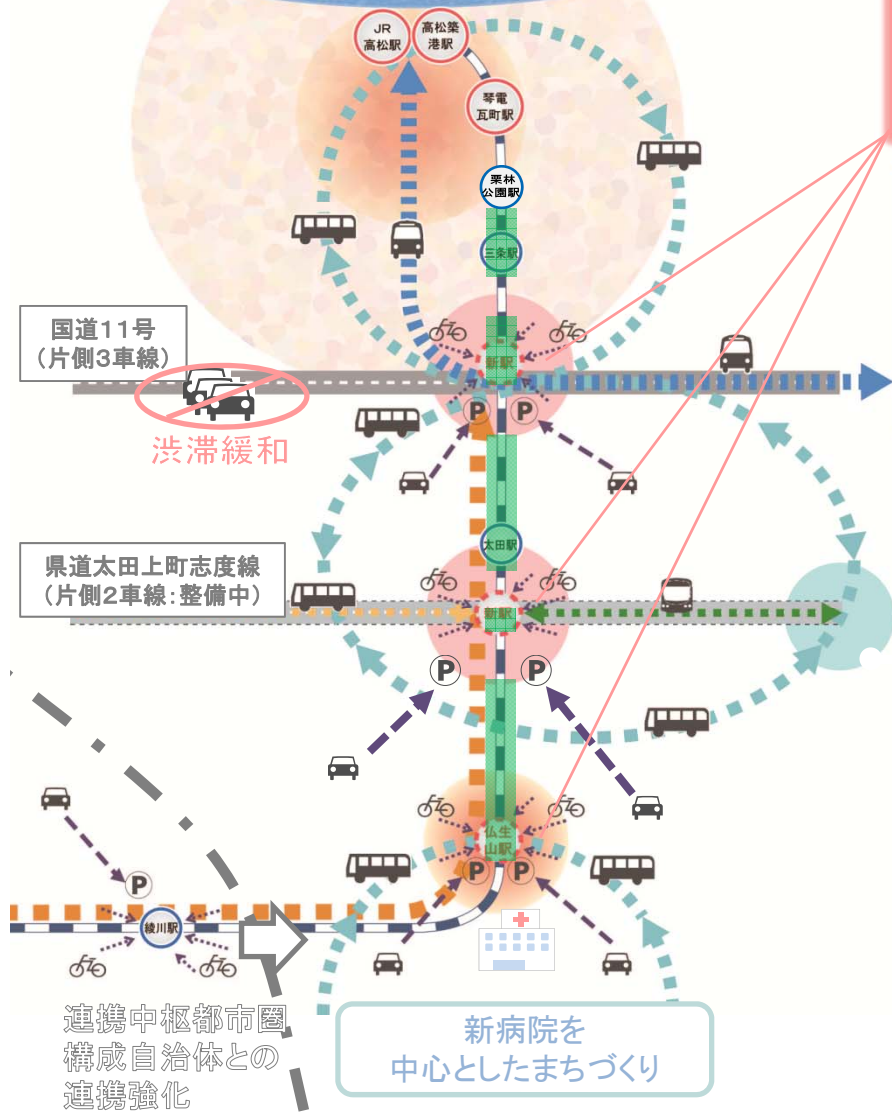


バス制服記念撮影



# ことでん新駅関係

## 新駅全体計画



立地適正化計画(“都市機能“及び  
“居住“の誘導)と連動した拠点形成



- ### 具体的事業
- 新駅、駅前広場整備  
(バス接続を主とし、  
P&R (K&R) 駐車場、  
C&R 駐輪場も整備)
  - 鉄道幹線軸強化 (複線化)
  - バス路線再編  
(フィーダーバス化)
  - 新交通システムの検討

【学術研究拠点】  
香川大学等

- ### 期待される効果
- 地域内交通の連携強化  
⇒ 多様な移動環境の構築 (拠点形成の促進)
  - 都市間交通との連携強化  
⇒ 交流人口の増加による “にぎわい” 創出
  - 道路負荷低減  
⇒ 質の高い生活環境の構築

高松市が持つ “強み” を生かした 「コンパクト プラス ネットワーク」 のまちづくり

# ことでん新駅（三条～太田駅間）イメージパース



# 公共交通に関する指標

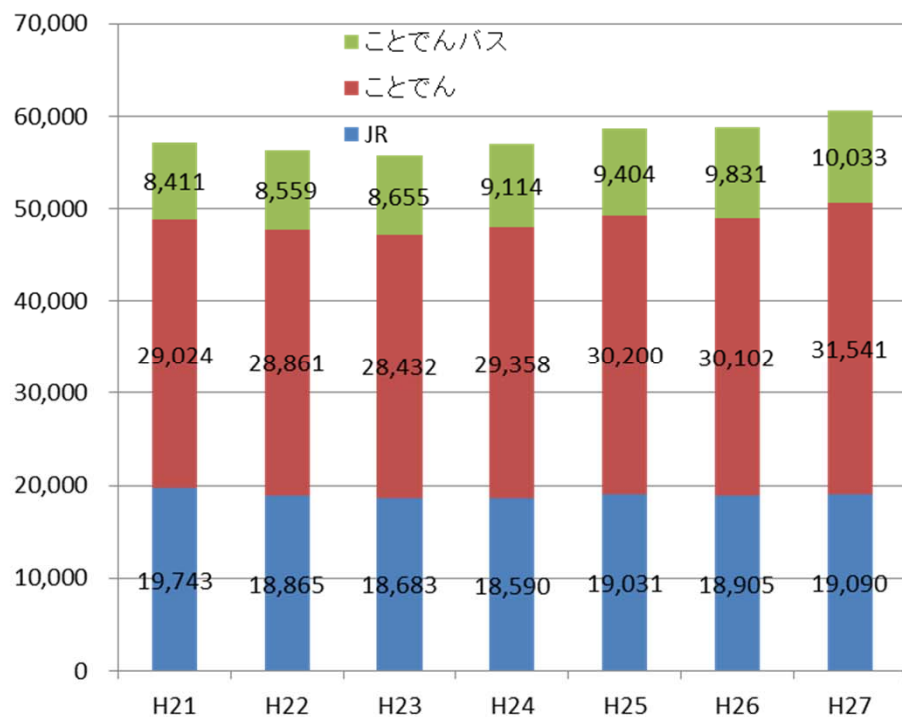
## ① 市民満足度

(各年度の市民満足度調査結果)

年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
公共交通の利便性の向上 (満足・やや満足)	22.3%	21.1%	21.9%	18.8%	25.7%	32.1%	34.9%

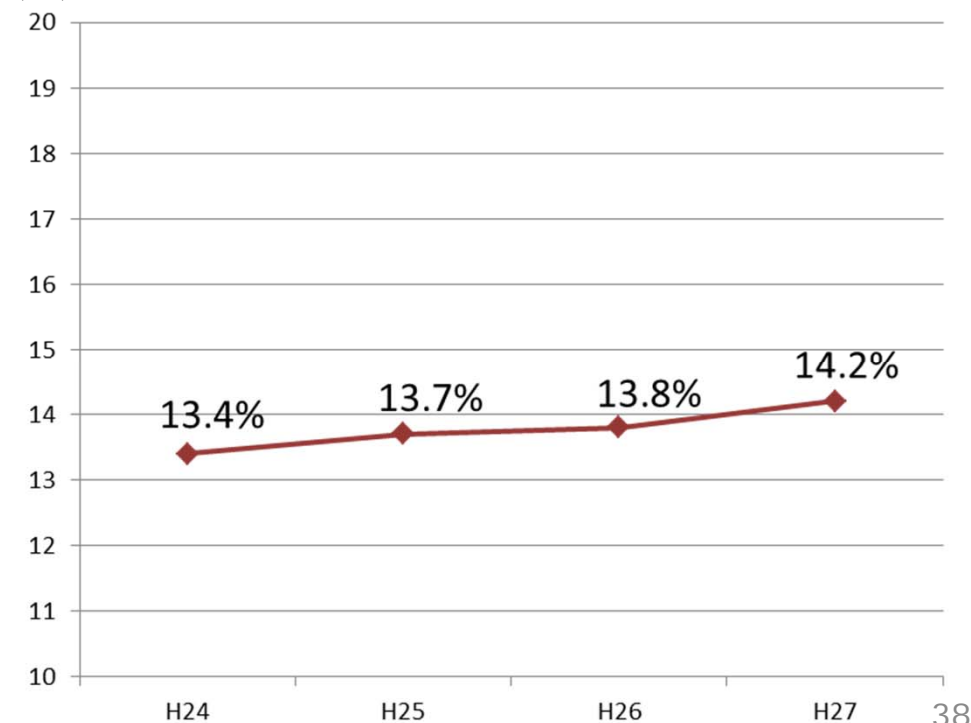
## ② 利用者数

(人) 市内公共交通利用者(利用者=1日の乗降者数/2)



## ③ 公共交通利用率

(%) (利用率=公共交通利用者/高松市の人口「市統計」)



## これからの地域公共交通（高松市では・・・）

- 都市構造（まちづくり）と一体的に構築（コンパクト）
- 地域の特性に応じた交通サービスの組み合わせ（ネットワーク）
- 地域住民が主体的に取り組む環境を整備（協働）
- 関係者等が相互に評価し合える目標設定（進行管理）

**基礎自治体（市町村）が中心となり、  
交通事業者、関係者等と合意形成を図りながら推進**



**国、県など関係機関が推進を後押し**

**持続可能な公共交通体系の構築**



# 御清聴ありがとうございました



高松市市民政策局 交通政策課